



近年、地球温暖化の影響を受けて、登熟期の高温により、米粒が白く濁るなどの品質低下が問題となっています。そのため、本県では夏場の高温条件下でも品質低下が少ない高温耐性品種の選定を行い、これまでに「なつほのか」「じゃ姫」「おてんとそだち」を奨励品種に採用し、作付けを推進しています。また、2016年度には「あさひの夢」や「ヒノヒカリ」に替わる早生品種「なつほのか」を奨励品種に採用しました。

「なつほのか」は、鹿児島県で育成された新品種で、「ヒノヒカリ」と比べて出穂期で7

日、成熟期で11日程度早い早生品種です。また、稈長（かんちよう）はやや短く1穂もみ数はやや少ないですが、千粒重が重いため、収穫量は「ヒノヒカリ

稲早生品種「なつほのか」

白系未熟粒が少ない
収穫早く二毛作容易

「なつほのか」は、鹿児島県で育成された新品種で、「ヒノヒカリ」と比べて出穂期で7

「なつほのか」の品種特性

品種名	なつほのか	ヒノヒカリ	あさひの夢
移植期	6月16日	6月16日	6月16日
出穂期	8月16日	8月23日	8月17日
成熟期	9月21日	10月2日	9月22日
稈長 (cm)	80.2	82.9	72.6
穂長 (cm)	19.8	19.4	21
穂数(本/m ²)	335	329	324
1穂もみ数(粒)	77.3	81.8	76.9
千粒重(g)	24.8	23.4	23.3
玄米重(kg/10a)	575	547	515
品質	上の中	中の上	上の下

「なつほのか」の導入により、早生品種作付け地域での収量・品質の向上が期待できる他に、収穫期が早いいため、麦・野菜などの組み合わせも容易となり、水田利用率向上にもつながると考えられます。「なつほのか」は18年から現地での生産を開始する予定です。

(農産園芸研究部門作物研究室 中山美幸)